

No.2011-4 2011/11/29

ファイト！ ～全日赤女性部ニュース～

全日本赤十字労働組合連合会

★★11月26-27日 全日赤女性集会開催しました★★

全日赤女性部は、久しぶりに「女性学習交流会」を開催し、本部・講師含めて12単組31名の参加がありました。女性ならではの賑やかな楽しい企画となりました。送り出してくださった単組のみなさん、参加されたみなさん、ありがとうございました。

世界的な視野で、女性の働き方を考える

26日は、文京学院大学の堀内光子先生の「働きがいのある人間らしい看護労働」の講演をしていただきました。ILOの提唱しているディーセントワーク（働きがいのある人間らしい働き方）や、母性保護、日本の女性の地位、ワークライフバランス、看護労働に関するILO国際労働基準などたくさんの資料をつかったの講義でした。おしゃべりタイムでは、「ディーセントワークのような家族にも身体にもやさしい働き方を目指していく必要があるね」とか「育短など育児中の職員に対する制度は出来ているが、人手がいないと他のスタッフの負担となっている」とか、「ワーク・ライフ・バランスというと看護部は、ルールのない働かせ方だと勘違いしている感じがする」など、国際的な視野から今の働き方を振り返り、「やっぱり労働組合が、組織拡大もしてがんばらないとね」と、労働組合の役割を認識しました。

アロマセラピーでいやされ

27日は、安曇野単組の山岡さん（北信越地方協女性部長）を講師に迎え「アロマセラピー講座」を開催しました。アロマの基礎知識の学習と安曇野日赤での看護外来（アロマセラピー外来）の活動内容の報告もありました。講義のあと、それぞれでオリジナルのアロマオイルを作り、二人ひと組で、手と腕のマッサージをおこないました。「マッサージすることによって、指先が温かくなり気持ちよかったし、やっている方もやりがいがある」や「アロマの知識が増えてよかった」など、感想がでました。

